



KONDO-TK CO.,LTD

株式会社 近藤鉄工所

エコアクション21環境経営レポート



2023年9月1日～2024年8月31日

2024年11月18日発行

株式会社 近藤鉄工所

目次

- 1 事業活動の概要
- 2 実施体制
- 3 環境経営方針
- 4 環境経営目標
- 5 環境経営計画
- 6 環境経営目標の実績
- 7 環境経営計画の振り返り
- 8 環境関連法規などの遵守状況
- 9 代表者による全体の評価と見直し・指示

1 事業活動の概要

1) 事業者名

株式会社 近藤鉄工所

2) 代表者名

代表取締役社長 近藤 裕也

3) 設立

1973年1月17日

4) 所在地

〒484-0965 愛知県犬山市字下榎島3-7

5) 事業内容

各種金属部品の加工

6) 事業規模

資本金：3,000,000円

従業員数：26名

工場面積：敷地1880㎡ 建屋1035㎡

7) 連絡先

TEL：0568-68-1015

FAX：0568-68-1014

8) 事業年度

9月1日から8月31日までの1年間

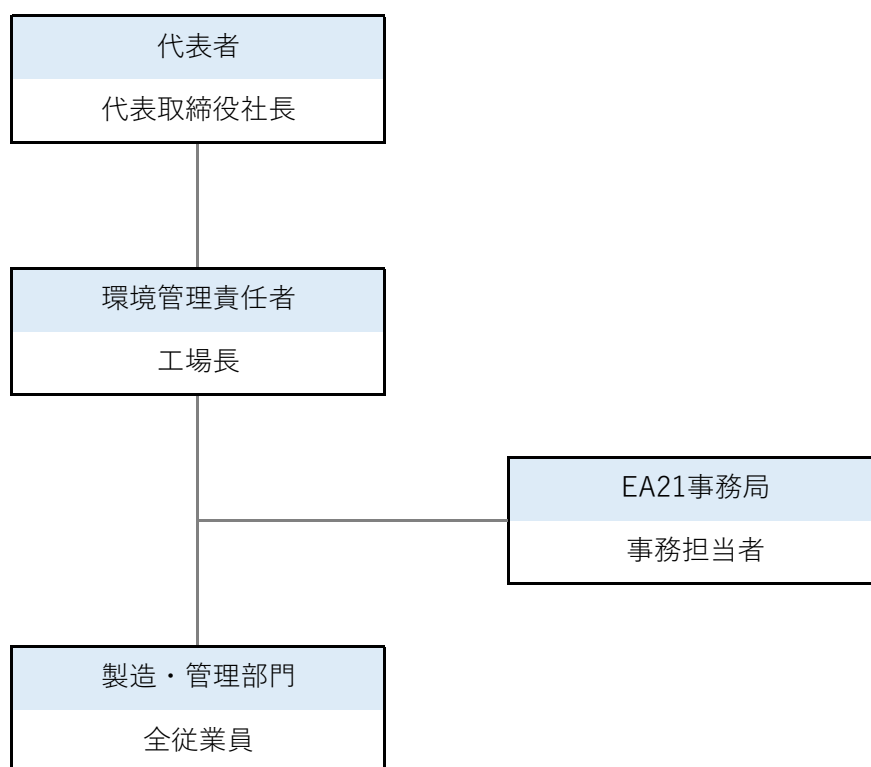
9) 対象範囲

全組織・全活動

対象組織：本社・工場

対象活動：事業内容に記載の通り

2 実施体制



役割分担

代表者	・ EA21に関する全てに責任と権限を持ち、環境管理責任者を任命 ・ 環境方針の策定、各種目標・計画の承認 ・ 資金の準備（人・設備・費用） ・ 各種文書類、環境経営レポートの承認 ・ 全体の評価と見直し
環境管理責任者	・ EA21システムの確立、推進、維持管理 ・ 環境目標・環境活動計画の策定 ・ 実施状況の把握と報告 ・ レポートの作成
EA21事務局	・ 環境管理責任者をサポート ・ 実績集計・管理 ・ 環境文書の記録・作成・管理
従業員	・ 会社の方針・目標・計画に従って実行

3 環境経営方針

基本理念

環境問題が喫緊の課題となっている現在、循環型社会の実現が世界の最重要課題の一つだと考えます。近藤鉄工所は『ものづくり』企業として、クオリティの担保、省エネルギー、リサイクル、コンプライアンス徹底などの活動を行い、グリーン産業のサプライチェーンという新たな分野への参入にも積極的に取り組むことで、循環型社会への貢献を目指します。こうした理念のもと『ものづくり』という分野で、本当の意味での『豊かな社会』の実現をお手伝いすることが当社の使命です。

行動指針

1. 当社に適用する環境関連法規、条例等、及び社内で同意したその他の要求事項を遵守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直すことにより、環境貢献活動を継続的に推進します。
 - 2.1 事業活動や提供するサービス・商品が環境に貢献するように取り組みます。
 - 2.2 品質を高め不具合の発生を減らすことで、生産に必要なエネルギー全体の削減に努めます。
 - 2.3 エネルギー利用のムリ、ムダ、ムラを見つけ改善することで、省エネルギーに努めます。
 - 2.4 資源の再利用・削減・再生・油汚染予防に努め、廃棄物の排出量を削減します。
 - 2.5 あらゆる事業活動において、グリーン化を意識して取り組みます。
3. 継続的な取り組みと定期的な評価を行うことにより、環境貢献を推進します。
4. 全社員に環境方針を周知し、環境経営システムの継続的改善を推進します。
5. 環境活動レポートの作成を行い、情報公開を行います。

制定日 2023年9月1日

改定日 2023年12月14日

株式会社近藤鉄工所

代表取締役社長 近藤 裕也

4 環境経営目標

NO.	目標項目		単位	51期(実績)	52期	53期	54期
				22年9月～23年8月	23年9月～24年8月	24年9月～25年8月	25年9月～26年8月
				基準値	年度目標		
1	加工不良の削減	加工不良 件数	件	143	129	116	105
		社外流出 件数	件	46	42	40	38
		再製作 件数	件	55	52	50	48
		損失ポイント	P	5,076,000	4,600,000	4,300,000	4,000,000
2	CO2排出量総量の削減	削減率	%	—	1%削減	2%削減	3%削減
		CO2排出量	kg-CO2	241,085	238,674	236,263	233,852
3	電力使用量の削減	削減率	%	—	1%削減	2%削減	3%削減
		電力使用量合計	kwh	465,510	460,855	456,200	451,545
		太陽光発電量	kwh	36,485	36,485	36,485	36,485
		購入電力量	kwh	429,025	424,370	419,715	415,060
		CO2排出量	kg-CO2	222,235	220,013	217,790	215,568
4	ガソリン使用量の削減	削減率	%	—	1%削減	2%削減	3%削減
		使用量	L	7,837	7,758	7,680	7,602
		CO2排出量	kg-CO2	18,181	18,000	17,818	17,636
5	軽油使用量の削減	削減率	%	—	1%削減	2%削減	3%削減
		使用量	L	259	257	254	251
		CO2排出量	kg-CO2	668	662	655	648
6	産業廃棄物排出量の監視（廃油）	購入量の監視	kg	9,500	9,500	9,500	9,500
7	水使用量の監視（異常値発見）	使用量の監視	m³	371	371	371	371
8	工場周辺の清掃	実施回数/年	回	2	2	2	2
9	キリコ集積場の油水分離層の清掃	実施回数/月	回	1	1	1	1
※化学物質は使用していません。							

5 環境経営計画

今年度の取り組み計画（取り組み項目を必要に応じて見直す）

NO.	目標項目		単位	年度目標値	取り組み項目	担当者
				52期		
				23年9月～ 24年8月		
1	加工不良の削減	加工不良 総数	件	129	不良報告を行い、発生と流出の原因を捉え、再発防止に繋げる	全員
		社外流出 件数	件	42	製品の回収に繋がるクレーム発生をなくすため製品の品質管理に努める	品証
		再製作 件数	件	52	加工前に未然に防ぐ段取り方法や、不良数を最小限に抑える管理方法の実施	製造・品証
		損失ポイント	P	4,600,000	社内、社外の不良数を把握、分析し、気づきを社内共有する	全員
2	CO2排出量の削減	削減率		1%削減	—	—
		CO2排出量	kg-CO2	238,674	—	—
3	電力使用量の削減	削減率	%	1%削減	空調の適温化（冷房28℃程度、暖房22℃程度）を目安にする	全員
					使用していない設備の電源をブレーカーから落とす	全員
					エアコン・コンプレッサー・機械の主軸冷却、配電盤のフィルター清掃	全員
		使用量	kwh	460,855	既存の加工方法を見直し、エネルギーの効率的利用をする	製造
					定期的なメンテナンスを実施し、設備のトラブルを未然に防ぐことでムダなエネルギーの消費を削減する	製造
					3S活動を行い、製造のムリ・ムダ・ムラをなくす	全員
		CO2排出量	kg-CO2	220,013	コンプレッサーを必要量に応じた圧力に抑えるよう、運転する設備の種類や台数を適宜調整する。	製造
					照明器具の更新時、LEDに順次切り替える	総務
					電力のデマンドコントロールを採用（ピークカット対策）	総務
4	ガソリン使用量の削減	削減率	%	1%削減	安全運転の実施	営業
		使用量	L	7,758	「エコドライブ10のすすめ」を実践する	営業
		CO2排出量	kg-CO2	18,000	エコカー（低燃費車、EV等）への切り替えを推進	総務
5	軽油使用量の削減	削減率	%	1%削減	安全運転の実施	営業
		使用量	L	257	「エコドライブ10のすすめ」を実践する	営業
		CO2排出量	kg-CO2	662	エコカー（低燃費車、EV等）への切り替えを推進	総務
6	産業廃棄物排出量の監視	購入量の監視	kg	9,500	廃棄物処理方法を最適化し、分別廃棄の徹底で、廃棄物を資源化	製造
7	水使用量の監視 （異常値発見）	使用量の監視	m ³	371	節水表示による呼びかけの実施	全員
8	工場周辺の清掃	実施回数/年	回	2	工場周辺の清掃を行う	全員
9	キリコ集積場の 油水分離槽の清掃	実施回数/月	回	1	キリコ回収時に油水分離槽の油を吸引する	製造
実施計画	・年度初めに、数値目標と取り組み項目確認。 ・上記項目の実施状況を確認できるように、掲示する。 ・半年に一度、遅延や達成状況を評価し、必要に応じてアクションをとる。					

6 環境経営目標の実績

目標達成率
 ◎ 110%以上
 ○ 95～109.9%
 △ 80～94.9%
 × 79.9%以下

NO.	目標項目		単位	51期(実績)	52期				
				22年9月～23年8月	23年9月～24年8月		削減率	目標達成率	評価
				基準値	目標値	実績			
1	加工不良の削減	加工不良 件数	件	143	129	138	-3.5%	93.5%	△
		社外流出 件数	件	46	42	62	34.8%	67.7%	×
		再製作 件数	件	55	52	69	25.5%	75.4%	×
		損失ポイント	P	5,076,000	4,600,000	5,734,500	13.0%	80.2%	△
2	CO2排出量の削減	削減率	%	—	1%削減				
		CO2排出量	kg-CO2	241,085	238,674	161,991	-32.8%	147.3%	◎
3	電力使用量の削減	削減率	%	—	1%削減				
		電力使用量合計	kwh	465,510	460,855	445,653	-4.3%	103.4%	○
		太陽光発電量	kwh	36,485	36,485	57,642			
		電力購入量	kwh	429,025	424,370	388,011	-9.6%	109.4%	○
		CO2排出量	kg-CO2	222,235	220,013	141,597	-36.3%	155.4%	◎
4	ガソリン使用量の削減	削減率	%	—	1%削減				
		使用量	L	7,837	7,758	7,417	-5.4%	104.6%	○
		CO2排出量	kg-CO2	18,181	18,000	17,208	-5.4%	104.6%	○
5	軽油使用量の削減	削減率	%	—	1%削減				
		使用量	L	259	257	1,177	354.2%	21.8%	×
		CO2排出量	kg-CO2	668	662	3,037	354.2%	21.8%	×
6	産業廃棄物排出量の監視（廃油）	購入量の監視	kg	9,500	9,500	8,900			○
7	水使用量の監視（異常値発見）	使用量の監視	m ³	371	371	358			○
8	工場周辺の清掃	実施年数/年	回	2	2	1			△
9	キリコ集積場の 油水分離槽の清掃	実施年数/月	回	1	1	1			○

7 環境経営計画の振り返り

今年度の取り組み実績（次年度は、取り組み項目を必要に応じて見直す）

NO	目標項目	単位	年度目標値		実績	評価	取り組み項目	次年度 対応	取組結果の評価
			52期						
			23年9月～ 24年8月						
1	加工不良の削減	加工不良 総数	件	129	138	△	不良報告を行い、発生と流出の原因を捉え、再発防止に繋げる	継続	総数は減ったが目標未達。次年度は不良ミーティングを定期的に行い、 ・グラフなどの見える化で削減意識を高める ・再発防止策の共有、横展開 ・流出を防ぐための検査方法の検討を実施し、目標達成を実現させる
		社外流出 件数	件	42	62	×	製品の回収に繋がるクレーム発生をなくすため製品の品質管理に努める	継続	
		再製作 件数	件	52	69	×	加工前に未然に防ぐ段取り方法や、不良数を最小限に抑える管理方法の実施	継続	
		損失ポイント	P	4,600,000	5,734,500	△	社内、社外の不良数を把握、分析し、気づきを社内共有する	継続	
2	CO2排出量の削減	削減率		1％削減	32.8%削減	◎	—	—	太陽光発電と、期間途中でCO2フリーメニューへの切り替えにより、大幅な削減を実現できた。次年度は全期間通してCO2フリーメニューの電力供給となるため、さらなる削減が期待できる。
		CO2排出量	kg-CO2	238,674	161,991	◎	—	—	
3	電力使用量の削減	削減率	%	1％削減	4.3%削減	○	空調の過温化（冷房28℃程度、暖房22℃程度）を目安にする	継続	今年の夏は暑かったので空調の過温下での削減は難しい状況だった。使用していない設備の電源は切り忘れもあり、もう少し削減の余地があった。フィルター清掃は実施できたが、定期的なメンテナンスにやや不安が残る。3 S活動も実施が不十分だったので、次年度は3 S活動及びメンテナンス実施の時間を設け、積極的に実施できるように努める。コンプレッサの運転の適宜調整はうまく実践できていたと思う。照明器具の更新の機会は無かった。次年度以降、機会があれば積極的にLEDに変更する。電力ピークカット対策はデマンド監視を行い、うまく取り組みを行うことができた。
		使用していない設備の電源をブレーカーから落とす					継続		
		エアコン・コンプレッサー・機械の主軸冷却、配電盤のフィルター清掃					継続		
		既存の加工方法を見直し、エネルギーの効率的利用をする					継続		
		定期的なメンテナンスを実施し、設備のトラブルを未然に防ぐことでムダなエネルギーの消費を削減する					継続		
		3S活動を行い、製造のムリ・ムダ・ムラをなくす					継続		
		コンプレッサーを必要量に応じた圧力に抑えるよう、運転する設備の種類や台数を適宜調整する。					継続		
		照明器具の更新時、LEDに順次切り替える					継続		
4	ガソリン使用量の削減	削減率	%	1％削減	5.4%削減	○	安全運転の実施	継続	目標以上の削減をすることができた。 次年度は特にフォークリフトもエコドライブを心掛けていきたい。
		使用量	L	7,758	7,417	○	「エコドライブ10のすすめ」を実践する	継続	
		CO2排出量	kg-CO2	18,000	17,208	○	エコカー（低燃費車、EV等）への切り替えを推進	継続	
5	軽油使用量の削減	削減率	%	1％削減	354.2%増	×	安全運転の実施	継続	前年度の集計の数値が不適切だった可能性が高い。 次年度は今回の数値をもとに目標再設定する。
		使用量	L	257	1,177	×	「エコドライブ10のすすめ」を実践する	継続	
		CO2排出量	kg-CO2	662	3,037	×	エコカー（低燃費車、EV等）への切り替えを推進	継続	
6	産業廃棄物排出量の監視	購入量の監視	kg	9,500	8,900	○	廃棄物処理方法を最適化し、分別廃棄の徹底で、廃棄物を資源化	継続	適正な廃油管理を行うことができていた。
7	水使用量の監視 （異常値発見）	使用量の監視	m	371	358	○	節水表示による呼びかけの実施	継続	適正な使用量だった。
8	工場周辺の清掃	実施回数/年	回	2	1	△	工場周辺の清掃を行う	継続	次年度は秋、春の2回実施したい。
9	キリコ集積場の 油水分離槽の清掃	実施回数/月	回	1	1	○	キリコ回収時に油水分離槽の油を吸引する	継続	マニュアルの作成、当番制、管理者の設置を実施したい。
実施計画	・年度初めに、数値目標と取り組み項目確認。 ・上記項目の実施状況を確認できるように、掲示する。 ・半年に一度、遅延や達成状況进行评估し、必要に応じてアクションをとる。								

8 環境関連法規などの遵守状況

事業所に適用される環境関係法規は下記の通りで、法令違反はありませんでした。
また、関連機関からの違反の指摘並びに訴訟等は、過去３年間ありませんでした。

- 騒音規制法
- 振動規制法
- 消防法
- 廃棄物処理法
- 家電リサイクル法
- フロン排出抑制法
- 県民の生活環境の保全等に関する条例

9 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し 関連 情報	項目		必要に応じて評価・コメント		
	1	環境経営目標の達成状況	CO2の大幅な削減により目標を達成できた。		
	2	環境経営計画の結果と評価	計画した取組項目に対し、出来た事と出来なかった事があった。		
	3	環境経営計画の次年度の取組計画	今年度同様の取組みを継続します。		
	4	次年度以降の環境経営目標	51期、52期を基準として53期に取り組みます。		
	5	環境関連法規などの遵守状況	遵守しています。		
	6	外部からの環境に関する苦情や要望	特にありませんでした。		
	7	問題点の是正・予防処置の実施状況	特にありませんでした。		
	8	その他	特になし。		
	(総括) ・ 目標は、様々な取り組みにより概ね達成できたと評価致します。 ・ 取り組みが不十分なところや、目標値を見直すべきところもあったため、次年度に活かしていきたいと考えています。 ・ 実施体制については有効に機能しており、継続します。				
代表者による 全体 評価 見直し 指示	見直し項目		変更の		「有」の場合の指示事項
	1	環境経営方針	有	無	
	2	環境経営目標	有	無	今期の結果を踏まえ、目標値を見直しましょう。
	3	環境経営計画	有	無	
	4	環境に関する実施体制	有	無	
	5	その他	有	無	
	(総評) ・ 今期は厳しい経営状況で売り上げも落ち込む中、継続的な労働環境の持続のための修繕や投資などは積極的に行いました。太陽光発電や期中半ばでのCO2フリーメニューへの電力供給プラン変更により、CO2排出量の大幅な削減につながる活動を実施することができました。次年度は期首からとなるため、さらなる削減が期待できます。しかしながら加工不良の削減に関しては目標未達で、改善の余地が大きいと感じました。次年度以降は定量的、定性的に原因と対策を検証し、全社員が共有できるような仕組み作りに取り組んでいきましょう。 2024年9月30日 株式会社近藤鉄工所 代表取締役社長 近藤 裕也				